

Mr. サトーのインド通信**灼熱地獄**

本格的な夏です。暑いです。本当に灼熱です。

20日からチェンナイ入っていますが、連日40℃越え。

うだる暑さというか、サウナというか・・・

少し古いですが「**なんも言えねえ**〜・・・」といった感じでしょうか？

暑さで凶暴になったのか、カラスと一緒にいた上司のH係長を襲撃していました・・・。

夏の暑さのせいではないのかもしれませんが、この間、クンナム地域に近い地方出身の議員が逮捕され、それに怒った住民のテロが発生しました。その際に、ある重要幹線道路の橋梁を破壊しようと手製爆弾が使用されたそうです。(破壊力は弱く、ほぼノーダメージだったのですが・・・)

そのことが原因で、クンナムの丁場があるタミルナド州では 5月23日現在 まだ丁場の正式稼働が認められていません。(保管の甘い丁場から爆弾の材料が盗まれた疑いもあるそうです?)

5月末までには再開の見込みですが、大規模盗掘事件があってから、石材関係に対する政府筋の心証がよくないのがここでも伺いしれます。

テロなど色々なことがあって予定の急な変更等もありますが、弊社ではできるだけ事前準備をしっかりと善処いたします。

インドで石材工場群があるのが、南インドのタミルナド州チェンナイ郊外ポナマリー周辺です。

この辺りは、現在、真夏。チェンナイは本日43℃。

(デカン高原中央のバンガロールは、本日29℃。涼しそう〜。インド各地のお金持ちが別荘を構える理由がうかがい知れます)

工場のほうでは、暑さで集中が若干途切れるのか、加工精度が少々下がります。

また、中国と同じように物価上昇、生活水準の上昇に伴い職人も減ってきています。

検品の重要性がますます増していますが、弊社ではインド担当の私たちが毎月訪れて指導検品しているので、高水準を保っていると自負しております。

…とまあ良くない話題ばかり続けてきましたが、良い話題も。

グレー系石種の主な産地、カルナタカ州の選挙がようやく終わりました。
許可証や採掘権の見直しなどの手続きが、徐々に始まっていくものと予想されます。

リリー・バングレー・銀河等の新展開が期待されます。(時間はもうすこしかかるとは思いますが)
また情報が入り次第、提供していきたいと思えます。今しばらくお待ちください。



インド式クレーン (各工場で大活躍)
このタイプだと手元で12 t、先で6 t
吊れます。



おじさんが紹介している果物、そう、これが
“ジャックフルーツ”。素敵な芳香 (若干臭い) で誘惑し、
食べた者を腹痛 (下痢等) へ導く、素敵な果物です。
(現地のインド人でさえお腹を下す方もいるので、
日本人は食べない方が無難です。かくいう私も食べて、
あいたたた・・・)